

内藤幸男と座間の未来を考える会 市政ドリル 第20号



責任感

郷土愛

情熱



1年間大変お世話になりました。平成30年も皆様の身近な存在として頑張ってお参ります。

問1 本年10月に栗原小学校の児童がキャンプ座間の子ども達と交流事業を行いました。キャンプ座間にある小学校の学校名は？

- ①メリーランド小学校 ②フェリックス小学校 ③アーン小学校

問2 キャンプ座間の返還跡地に建てられ、来年4月にいよいよ利用開始となる施設は何でしょう？

- ①公民館 ②郷土博物館 ③消防庁舎 ④新図書館

平成29年
第4回定例会

堅実な財政運営目立つ キャンプ座間を地域資源として捉えた国際交流も進む



10月に行われた栗原小学校の児童とアーン小学校の児童の交流会「Welcome Meeting with Aenn Elementary School」の様子(タウンニュースから)

今定例会では、財政調整基金の残高が、過去最高の16億8600万円余になるほか、補正予算として追加計上されやすい扶助費(生活保護費や児童手当などに使われる費用)が2年連続で補正予算として組み込まれずに済む等、当局の財政収支の見通しの良さや堅実な財政運営ぶりを伺うことが出来ました。

また一方で国際交流の一環として、10月にキャンプ座間内のアーン小学校に通う児童約100名が栗原小学校を訪れ、栗原小学校の児童と共に日本文化に触れるなどの交流が図られ、今回さらにその交流事業を推進するための予算措置がされました。このような事は近年では例がなく、基地を抱える本市として、両国の児童同士の交流が図られる事は、今後の未来を担う子供達にとって大きな経験に繋がるものであり、大変素晴らしい取り組みであると感じています。

さらには、キャンプ座間の返還跡地に建設されている新消防庁舎がいよいよ完成し、市民の皆様の利用開始が4月からなることが分かりました。新消防庁舎には、救急講習室や多目的会議室などが設置され、各種救急講演会や防災講演会等が開催される予定で、防災活動に対する普及啓発が行われます。市民の皆様の防災意識向上にも繋がる素晴らしいものになると期待されます。

確かな一歩の積み重ねで座間市の未来へつなぐ。

答え 問1 ③、問2 ③



内藤幸男と座間の未来を考える会

☎090-6107-3467

〒252-0024 座間市入谷4-2891-42

✉ zama@naito-yukio.com



内藤幸男

検索

討議資料

会派（自民党・いさま）視察

鹿児島県日置市・南九州市・姶良市

日置市で小中一貫教育について学ぶ



日置市
キャラクター
@ひお吉くん

日置市では小学校・中学校の教育課程においてこれまでの6年・3年制の考えではなく、4年・3年・2年制の考えを持って、9年間の中で一貫した教育を実施しています。また、小学校と中学校を繋ぐために両方で授業が行えるコーディネーターを配置するなど斬新な工夫もなされています。

小学校・中学校の児童生徒が減ることによる統合的な小中一貫ではなく、成長段階に合わせた教育を提供していくと共に小中学生が情報交換や交流の場を通じて「礼節」や「郷土愛」などの道徳性を育むための一環教育であり、小学校から中学校へ進学する際に課題となるいわゆる中一ギャップの解消にも繋がっているとのことでした。

文科省でも小中連携、一貫教育について推進しており、今後、本市でも小中一貫教育についてしっかりと考えて行かなければなりません。その際に、ただ単に児童生徒数が減少することによって統合的な小中一貫が行われるのではなく、児童生徒の成長を第一に考えた小中一貫教育が採り入れられるよう働きかけていきたいと思えます。



担当課の方から丁寧に説明をしていただきました。

「小中一貫教育」Q & A

- Q** 小中一貫教育を実施するメリットは何ですか。
- A** 小中一貫教育を導入することで、小学校と中学校が、より連携・協力しやすい学習環境をつくりやすくなり、教育課程の編成や指導形態を工夫するなど9年間の系統性や連続性を踏まえた指導をすることができます。そのことで、いじめや中一ギャップの解消、学習意欲の醸成や学力向上などの課題解決を図ります。
- 【「日置市小中一貫教育」の基本方針】
- 1 各中学校区で目指す子ども像を共有し、9年間を通して「生きる力」を育成します。
 - 2 9年間を通じた教育課程を編成するなど、一貫した教育を実施します。
 - 3 小・中の系統性を踏まえた教科指導や体力づくりの指導を実施します。
 - 4 郷土にある自然や歴史、伝統文化を生かした「ひお吉ふるさと教育(ひお吉学)」を実施します。
- Q** 学校教職員の体制で、何か変わることがありますか。
- A** 小学校と中学校との連携を担当する教員(コーディネーター)を各グループの中学校に一人配置します。また、各グループにおいて、教員が小学校と中学校の両方で授業ができるように業務させたり、1年間の小中交流のための人事異動を推進したりします。

南九州市でまちなみ保存に触れる



南九州市
キャラクター
@お茶むらい



1月からスタートする大河ドラマ「西郷(せご)どん」の撮影現場にもなった重要伝統的建造物群保存地区を視察。



知覧特攻平和会館にも足を運び、平和の大切さや戦争の怖さを改めて感じる事ができました。平和な日本を未来へ繋ぐためにも当時の真実をしっかり後世に伝えることが大切です。ここに保管される手紙や遺品にはその想いが込められています。

南九州市は武家屋敷など伝統的建造物を行政主体で残し、観光資源や教育資源として残す「まちなみ保存」に力を入れて取り組んでいます。

本市においても入谷には趣きのあるまちなみが残る地域(鈴鹿・長宿地区)があり、「特定景観計画地区」として指定されています。この地区は座間南林間線道路があり、今後拡幅工事なども予定されていることから、地域と一体となって景観保全を守りつつ都市計画道路の整備を進めていく必要があります。南九州市と本市ではまちなみ保存に対しての目的は違うかもしれませんが、条例の内容や事業の進め方など大変参考になるものでありました。

始良市の道徳教育に感銘



始良市
キャラクター
@くすみん

始良市は、道徳教育について先進的に取り組んでいる自治体です。始良市子育て基本条例を設け、学校・家庭・地域による協働で道徳教育を推進しており、それぞれの責任や取組を明確にされています。

～基本条例の具現化を図るための取り組み～

- ①協議会を設置し教育長と各小中学校の校長先生、PTA会長、地域代表者らによるモラリティ・インプルーブメント・ミーティングを開催
- ②指導力を高めるための研修会の実施や独自教材の開発
- ③道徳の時間の地域や家庭への公開

平成25年に始まったこれらの事業は、教育長が先頭に立ち道徳教育の重要性を地域に浸透させたことにより、不登校やいじめの減少、また保護者の不登校やいじめに対する取り組み方の変化など着実な成果が表れているそうです。

来年度以降、小中学校で道徳教育が必修化

来年度以降小中学校で道徳は必修化になることが決まり、「特別の教科」として年間35時間のカリキュラムとして設けられます。近年は心が育まれていないがゆえの通常では考えられない事件なども連日のように耳にします。

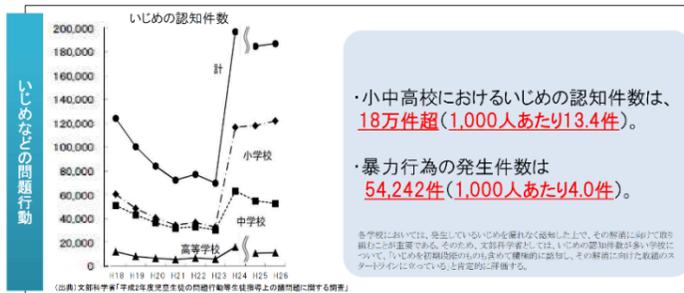
本市でも保護者や学校の先生だけで子ども達を育てるのではなく、地域一体となって子ども達を育てることが大切です。教育は国家百年の大計です。だからこそ強いリーダーシップを持って道徳教育に取り組んでいく必要があると感じます。

今回は教育委員会教育長にお話しを聞くことができましたが、「道徳は親だけや学校だけでなく、社会全体で協働して一体となって取組」という強い思いを感じ、大変感銘を受けました。

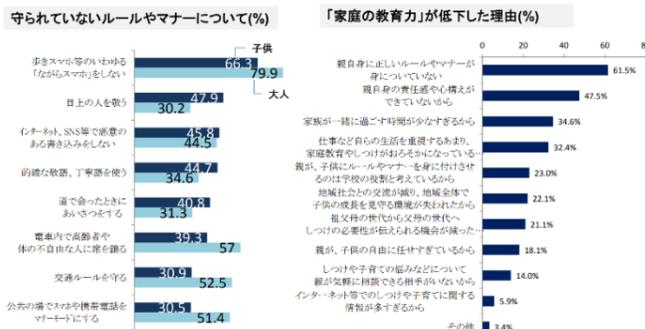
なぜ、いま道徳教育が強く求められるのか？

理由①いじめの認知件数増加

大津のいじめ自殺(平成23年10月)、川崎の事件(平成27年2月)など、痛ましい問題が多発。



理由②子供を取り巻く家庭や地域の変化



理由③グローバル社会の進展によるコミュニケーションや対人関係の変化

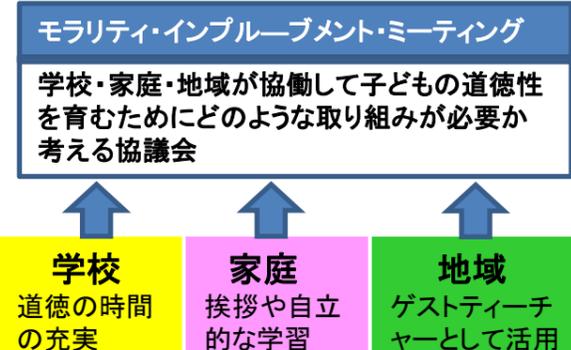
理由④自己肯定感の低下

理由⑤地域参画への意識の低下

一人一人が、道徳的価値の自覚のもと、自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を目指す資質・能力を備えることが重要。こうした資質・能力の育成に向け、道徳教育は大きな役割を果たす。



始良市の教育長に道徳教育や子育て基本条例について説明を受けました。



第四回定例会一般質問と答弁の主な内容



内藤幸男 議員

12月4日の一般質問では、視察での経験を活かして「道徳教育」について集中的に質問をさせていただきました。以下主な質問と答弁の内容になります。

◆道徳に対する市長・教育長の考え方は？

本市において許しがたい事件が起きたばかりですし、日本人の持つ規律や礼節を重んじる国民性や道徳心を育む教育に関して熱心に取り組んでいかなければならないと感じているのは私だけではないはずです。社会環境が大きく変化する現在、正義感や倫理観、常識といった価値観が揺らぎ、社会全体のモラルの低下も指摘されております。この社会一般の道徳について、市長の所感を聞かせてください。

【市長】道徳は我が国の歴史や伝統文化に根差したものであると思います。家庭や地域、学校、社会生活の中で身に着け引き継がれていくものと思っていますし、社会全体で育み、守っていくものが道徳だというふうに認識しています。

【教育長】今回の道徳教育の改善の発端となったのはいじめ問題への対応であり、児童・生徒がこうした困難な問題に主体的に対処することのできる実効性のある力を育成していく上で、道徳教育は大きな役割を果たすことが強く求められています。このようなことから道徳教育の改善充実に取り組んでいく必要があります。道徳教育は教育の中核を成すものであり、学校における道徳教育は学校のあらゆる教育活動を通じて行われるべきものです。そして教育大綱「豊かな心を育むひまわりプラン」の中にもあるように、豊かな心を育むためには学校・家庭・地域・行政等、社会全体が連携して取り組むことが大切であると考えております。

◆道徳の教科書の選定ポイントは？

本年7月26日座間市教育委員会による定例教育委員会が行われ、本市で来年、再来年に亘って使用する道徳の教科書の採択がされました。「(株)光文書院」の教科書を選んだポイントと本市に適していると判断した理由をお示ください。また、本市の伝統文化・芸能を知り、学ぶことを通じて郷土への愛着を醸成していく心を培うことの願望も含め補足本等を考えていくことが適切と考えますが教育長はどのように考えているのでしょうか？

【教育長】児童が議論し、考えを深め一人ひとりの生き方に迫る授業が展開できる教材が多くある中、児童・教師にとって使いやすく分かりやすい内容、構成であるか等といった視点で各学校における学校希望調査の結果や管理職・教員・保護者代表・有識者など多くの方の意見をふまえて検討しました。その結果、各教科に狙いや考える筋道が示されており、児童が今「どんなことを学習するのか」、「何を考えるのか」が分かりやすい構成になっていることや児童が深く考えることが出来る工夫がみられることから(株)光文書院を採択しました。

郷土を学ぶ副読本に関しては現在6年生と中学生に「郷土の先人に学ぶ」を配布しています。また、小学生3年生には「わたしたちの座間」を配布。さらに来年度は(株)光文書院の道徳デジタル教科書において、1年生に龍源院を題材とした「ホテルの住むまち」、4年生に座間村幼年会についての補助教材が付いています。これらの中から教材として扱っていきたいと考えています。

◆本市のいじめの現状は？

文科省の調査では全国的にいじめの認知件数が増えています。ちなみに10月に発表がありましたが平成28年度に認知した全国小中高校などのいじめの件数は32万3808件と過去最多で、県内の件数も1万4917件となっています。本市の平成28年度のいじめの認知件数とその実態をどう受け止めているのか教育長の見解をお聞かせください。児童・生徒への対応や学校におけるいじめ問題に対する日常の取組もお示ください。

【教育長】小学校は224件、中学校は68件となっています。文科省ではいじめの認知件数はいじめの初期段階のものを含めて積極的に認知し、その解消に向けたスタートラインに立っているとして、極めて肯定的に評価するとしています。本市においても認知件数の受け取り方は同様であり、これまで以上にいじめに繋がる可能性のあるものを早い段階で先生方が認識し、手だてを講じていくことの表れであるかと捉えています。いじめられた児童生徒には親しい友人や教員、家族、地域の方々と一緒により添い支えあえる体制をつくり、いじめから救い出し徹底的に守り通すこと。いじめた児童生徒には、いじめは人格を傷つける行為であることを理解させ、自らの行為の責任を自覚させると共に不満やストレスがあってもいじめに向かわない力を育むこと。いじめを見ていた児童生徒に対しては自分の問題として捉えさせると共に、いじめを止めることが出来なくても誰かに知らせる勇気を持つよう伝えることなど、取り組んでいます。

後援会へのご加入も随時募集しております。お電話090・6107・3467もしくはメール zama@naito-yukio.comにてご連絡ください。またご要望なども気軽にご相談ください。